

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／その他資産（バンクローン）	
信託期間	2017年7月20日まで（2014年8月8日設定）	
運用方針	<p>主として円建ての外国投資信託であるウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPY ヘッジド・クラスの投資信託証券への投資を通じて、米国企業が発行する米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等を中心に実質的な投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。当該外国投資信託においては、米国企業が発行する米ドル建てのハイイールド債券等にも投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として投資する外国投資信託において為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p> <p>投資対象とする円建外国投資信託の運用は、ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーが行います。</p> <p>円建外国投資信託等への投資にあたり、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社の投資助言を受けます。</p>	
主要運用対象	バンクローン ファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPYヘッジド・クラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPYヘッジド・クラス	米国企業が発行する米ドル建てバンクローン等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれか多い額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第1計算期末までの間は、収益の分配を行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[満期償還]

バンクローンファンドUSA  
(為替ヘッジあり) 2014-08

信託終了日：2017年7月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「バンクローンファンドUSA（為替ヘッジあり）2014-08」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

 **MUFG**  
三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			受利益 者回	債券 組入	債券 比率	債券 先物	投資信託 組入	債券 比率	元残 存	本率
		税 分	込 配	み 金								
(設定日)	円 銭		円	円 銭		%	%	%	%	%	%	%
2014年8月8日	10,000		—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
1期(2014年11月20日)	9,989		—	△ 11	△0.1	△0.4	0.1	—	99.2	—	99.9	99.9
2期(2015年2月20日)	9,910		30	△ 49	△0.5	△1.1	0.1	—	99.3	—	98.2	98.2
3期(2015年5月20日)	9,997		30	117	1.2	0.7	0.1	—	99.0	—	95.1	95.1
4期(2015年8月20日)	9,824		30	△143	△1.4	△0.8	0.1	—	99.0	—	89.1	89.1
5期(2015年11月20日)	9,553		30	△241	△2.5	△2.5	0.1	—	99.0	—	79.3	79.3
6期(2016年2月22日)	9,141		30	△382	△4.0	△4.6	0.1	—	98.1	—	63.4	63.4
7期(2016年5月20日)	9,505		30	394	4.3	△1.8	0.1	—	98.6	—	49.8	49.8
8期(2016年8月22日)	9,649		30	174	1.8	△0.7	0.1	—	99.5	—	43.7	43.7
9期(2016年11月21日)	9,656		20	27	0.3	△0.5	0.1	—	99.3	—	40.8	40.8
10期(2017年2月20日)	9,793		0	137	1.4	0.1	0.0	—	99.1	—	38.4	38.4
11期(2017年5月22日)	9,758		0	△ 35	△0.4	△0.0	—	—	99.2	—	36.7	36.7
(償還時)	(償還価額)											
12期(2017年7月20日)	9,712.40		—	△ 45.60	△0.5	△0.2	—	—	—	—	36.4	36.4

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 信託約款の規定にしたがい、第1期までの収益分配は行っていません。

(注) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、米国企業が発行する米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第12期	(期 首) 2017年 5月22日	円 銭 9,758	% —	% —	% —	% —	% 99.2
	5月末	9,754	△0.0	—	—	—	99.0
	6月末	9,714	△0.5	—	—	—	74.8
	(償還時) 2017年 7月20日	(償還価額) 9,712.40	△0.5	—	—	—	—

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

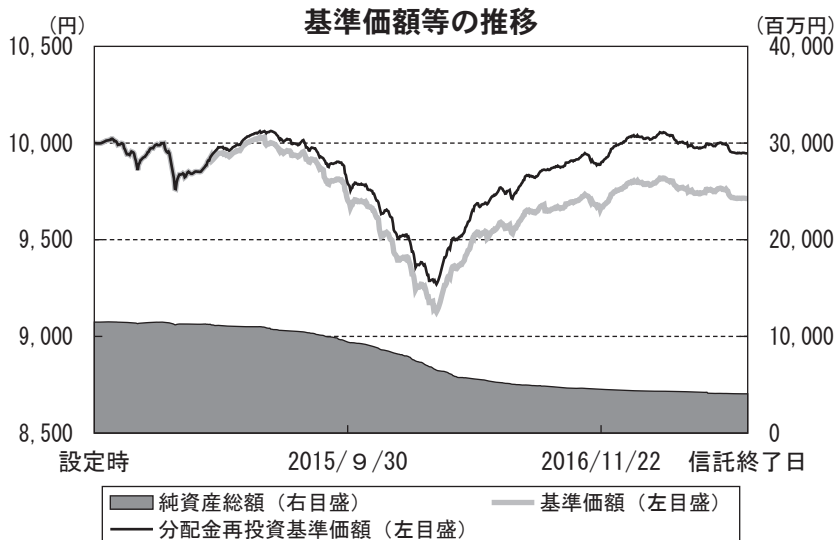
## 運用経過

### 設定来の基準価額等の推移について

(第1期～第12期：2014/8/8～2017/7/20)

#### 基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ0.5% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



第1期首：10,000円  
 第12期末：9,712.40円  
 (既払分配金 230円)  
 騰落率：-0.5%  
 (分配金再投資ベース)

- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- ・単位型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

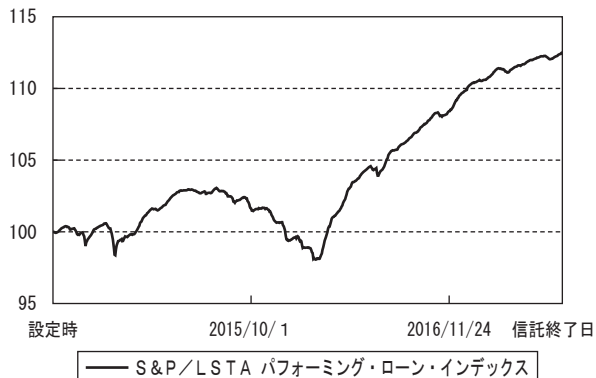
### 基準価額の主な変動要因

上昇要因	バンクローン(貸付債権)市況の上昇や利子収入の獲得などが上昇要因となりました。
下落要因	一部の保有銘柄の価格が下落したことなどが下落要因となりました。

投資環境について

(第1期～第12期：2014/8/8～2017/7/20)

バンクローン市況の推移  
(設定時を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

(注) S&P/LSTA パフォーマンス・ローン・インデックスとは、S&P社と米国のローン市場の業界団体であるLSTA (ローン・シンジケーションズ・アンド・トレーディング・アソシエーション) との提携のもとに算出されている、バンクローンの値動きを示す代表的なインデックスです。

◎バンクローン市況

- ・設定以来のバンクローン市況は、主に継続的な利子収入の積み上げなどにより上昇しました。
- ・設定時から2016年2月中旬にかけては、継続的な利子収入の積み上げなどを背景に上昇した局面があったものの、原油価格が下落したことや中国経済の先行きに対する懸念が高まったことなどを背景に投資家心理が悪化し、バンクローン市況は下落しました。
- ・2月下旬から信託終了日にかけては、原油価格や株式市況が反発したことなどを背景に投資家心理が改善したことや、米連邦準備制度理事会 (FRB) による政策金利の引き上げが意識される中、変動金利商品であるバンクローンに投資家の資金が流入したことなどを背景に上昇しました。

◎国内短期金融市場

- ・設定時から2016年1月までは、日本銀行は「量的・質的金融緩和」に基づきマネタリーベースの増加を操作目標として、金融市場調整を行いました。途中、2014年10月には、「量的・質的金融緩和」の拡大を行いました。また、2015年12月には「量的・質的金融緩和」を補完するための措置を導入しました。
- ・2016年1月の金融政策決定会合で日本銀行は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、 $-0.1\%$ 金利の適用は2月16日からとしました。
- ・2016年9月の金融政策決定会合で日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、金融市場調整の操作目標を、マネタリーベースの増加から長短金利の操作に変更しました。
- ・コール・レート (無担保・翌日物) は、設定時から2016年2月中旬にかけて概ね $0.1\%$ 弱近辺で安定的に推移していました。マイナス金利適用開始日である2016年2月16日以降は、 $-0.1\%$ にさや寄せする形でプラス圏から段階的に低下し、2017年7月20日のコール・レートは $-0.056\%$ となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

＜バンクローンファンドUSA（為替ヘッジあり）2014-08＞

- ・円建ての外国投資信託であるウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPYヘッジド・クラスを高位に組み入れた運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。
- ・信託期間を通じてみると、バンクローン市況の上昇や利子収入の獲得などがプラスとなったものの、一部の保有銘柄の価格が下落したことなどがマイナスとなりました。
- ・償還価額は設定時に比べ0.5%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

＜第1作成期（第1期：設定時～2014年11月20日）＞

- ・基準価額は設定時に比べ0.1%の下落となりました。

＜第2作成期（第2期～第3期：2014年11月21日～2015年5月20日）＞

- ・基準価額は当作成期首と比べ0.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第3作成期（第4期～第5期：2015年5月21日～2015年11月20日）＞

- ・基準価額は当作成期首と比べ3.8%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

＜第4作成期（第6期～第7期：2015年11月21日～2016年5月20日）＞

- ・基準価額は当作成期首と比べ0.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第5作成期（第8期～第9期：2016年5月21日～2016年11月21日）＞

- ・基準価額は当作成期首と比べ2.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

＜第6作成期（第10期～第11期：2016年11月22日～2017年5月22日）＞

- ・基準価額は当作成期首と比べ1.1%の上昇となりました。

＜第7作成期（第12期：2017年5月23日～信託終了日）＞

- ・償還価額は当作成期首に比べ0.5%の下落となりました。
- ・満期償還に向け2017年7月11日にウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPYヘッジド・クラスの組入比率をゼロにしました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。また、2017年7月12日に組入比率をゼロにしました。

<ウエスタン・アセット・米国バンクローン (オフショア) ファンドーJPY ヘッジド・クラス>

<第1作成期 (第1期: 設定時~2014年11月20日) >

- ・基準価額は設定時に比べ0.4% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。
- ・バンクローン市況の上昇や利子収入の獲得などがプラスとなりました。

<第2作成期 (第2期~第3期: 2014年11月21日~2015年5月20日) >

- ・基準価額は当作成期首に比べ1.3% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。
- ・一部の保有銘柄の価格が下落したことはマイナスとなったものの、バンクローン市況が上昇したことなどがプラスとなりました。

<第3作成期 (第4期~第5期: 2015年5月21日~2015年11月20日) >

- ・基準価額は当作成期首に比べ3.3% (分配金再投資ベース) の下落となりました。
- ・利子収入の獲得はプラスとなったものの、バンクローン市況が下落したことなどがマイナスとなりました。

<第4作成期 (第6期~第7期: 2015年11月21日~2016年5月20日) >

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.6% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。
- ・バンクローン市況の上昇や利子収入の獲得などがプラスとなりました。

<第5作成期 (第8期~第9期: 2016年5月21日~2016年11月21日) >

- ・基準価額は当作成期首に比べ2.7% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。
- ・バンクローン市況の上昇や利子収入の獲得などがプラスとなりました。

<第6作成期 (第10期~第11期: 2016年11月22日~2017年5月22日) >

- ・基準価額は当作成期首に比べ1.6% (分配金再投資ベース) の上昇となりました。
- ・バンクローン市況の上昇や利子収入の獲得などがプラスとなりました。

<第7作成期 (第12期: 2017年5月23日~信託終了日) >

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.3% (分配金再投資ベース) の下落となりました。
- ・バンクローン市況の上昇はプラスとなったものの、一部の保有銘柄の価格が下落したことなどがマイナスとなりました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

<第1作成期（第1期：設定時～2014年11月20日）>

- ・基準価額は設定時に比べ0.02%の上昇となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第2作成期（第2期～第3期：2014年11月21日～2015年5月20日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第3作成期（第4期～第5期：2015年5月21日～2015年11月20日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.02%の上昇となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第4作成期（第6期～第7期：2015年11月21日～2016年5月20日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.02%の下落となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。
- ・その結果、利子等収益は獲得したものの、組入債券の一部が下落したことなどから基準価額は下落しました。

<第5作成期（第8期～第9期：2016年5月21日～2016年11月21日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ0.01%の上昇となりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第6作成期（第10期～第11期：2016年11月22日～2017年5月22日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

<第7作成期（第12期：2017年5月23日～信託終了日）>

- ・基準価額は当作成期首に比べ横ばいとなりました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を組み入れ、利子等収益の確保を図りました。



### 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、米国企業が発行する米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

### 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、第2期から第8期までは各30円、第9期は20円の分配とさせていただきました。なお、第1期、第10期、第11期は収益分配を行っていません。信託期間中、累計で230円の分配を行わせていただきました。

### 償還価額

〈バンクローンファンドUSA（為替ヘッジあり）2014-08〉  
償還価額は9,712円40銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○1万口当たりの費用明細

(2017年5月23日～2017年7月20日)

項目	第12期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 19 ( 7 ) ( 12 ) ( 1 )	% 0.196 ( 0.069 ) ( 0.122 ) ( 0.005 )	(a)信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数) ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用 ( 監 査 費 用 )	0 ( 0 )	0.000 ( 0.000 )	(b)その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	19	0.196	
作成期中の平均基準価額は、9,734円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年5月23日～2017年7月20日)

投資信託証券

銘柄		第12期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア） ファンド-JPYヘッジド・クラス	4	40,393	497	4,070,418

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第12期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド		—	—	11,276	11,483

○利害関係人との取引状況等

(2017年5月23日～2017年7月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年7月20日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第11期末	
		口 数	
			千口
ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJPYヘッジド・クラス			492
合 計			492

親投資信託残高

銘	柄	第11期末	
		口 数	
			千口
マネー・マーケット・マザーファンド			11,276

○投資信託財産の構成

(2017年7月20日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 4,068,846	% 100.0
投資信託財産総額	4,068,846	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況

項 目	償 還 時
	2017年7月20日現在
	円
(A) 資産	4,068,846,112
コール・ローン等	4,068,846,112
(B) 負債	8,023,705
未払信託報酬	7,996,662
未払利息	7,090
その他未払費用	19,953
(C) 純資産総額(A-B)	4,060,822,407
元本	4,181,070,000
償還差損金	△ 120,247,593
(D) 受益権総口数	4,181,070,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,712円40銭

○損益の状況

項 目	第12期
	2017年5月23日～ 2017年7月20日
	円
(A) 配当等収益	40,308,177
受取配当金	40,393,101
受取利息	1,165
支払利息	△ 86,089
(B) 有価証券売買損益	△ 51,359,806
売買益	682,214,565
売買損	△733,574,371
(C) 信託報酬等	△ 8,044,546
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 19,096,175
(E) 前期繰越損益金	△102,222,418
(F) 解約差損益金	1,071,000
(G) 収益分配金	-
償還差損金(D+E+F+G)	△120,247,593

<注記事項>

- ①設定年月日 2014年8月8日  
 設定元本額 11,480,360,000円  
 作成期首元本額 4,218,070,000円  
 元本残存率 36.4%  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.971240円です。  
 ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は120,247,593円です。

- (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年8月8日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年7月20日			資産総額	4,068,846,112円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	8,023,705円	
				純資産総額	4,060,822,407円	
受益権口数	11,480,360,000口	4,181,070,000口	△7,299,290,000口	受益権口数	4,181,070,000口	
元本額	11,480,360,000円	4,181,070,000円	△7,299,290,000円	1万円当たり償還金	9,712円40銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	11,479,360,000円	11,466,729,157円	9,989円	-円	-%	
第2期	11,282,380,000	11,180,716,731	9,910	30	0.3	
第3期	10,923,070,000	10,920,232,190	9,997	30	0.3	
第4期	10,232,780,000	10,053,130,826	9,824	30	0.3	
第5期	9,109,680,000	8,702,052,094	9,553	30	0.3	
第6期	7,282,870,000	6,657,001,744	9,141	30	0.3	
第7期	5,718,890,000	5,435,905,015	9,505	30	0.3	
第8期	5,019,400,000	4,843,096,530	9,649	30	0.3	
第9期	4,687,990,000	4,526,931,340	9,656	20	0.2	
第10期	4,414,050,000	4,322,659,852	9,793	0	0.0	
第11期	4,218,070,000	4,115,847,582	9,758	0	0.0	
信託期間中1万円当たり総収益金及び年平均収益率				△57円60銭	-%	

## ○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	9,712円40銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

### 【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## ＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

<b>ファンド名</b>	ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJ P Y ヘッジド・クラス
<b>運用方針</b>	主として米ドル建ての米国企業向けバンクローンに投資を行い、利子収益の確保をめざします。原則として、対円での為替ヘッジを行います。
<b>主要運用対象</b>	米ドル建ての米国企業向けバンクローン等
<b>主な組入制限</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通常、純資産総額の80%以上をバンクローンに投資します。</li> <li>・ 通常、純資産総額の20%まで、ハイイールド債券等に投資できるものとします。</li> <li>・ 原則として、米国以外の先進国の企業向けバンクローンや、米国以外の先進国の企業が発行するハイイールド債券等への投資は純資産総額の20%以内とします。</li> <li>・ 原則として、米ドル以外の先進国通貨への投資は純資産総額の20%以内とします。この場合、米ドル以外の通貨売り、米ドル買いの為替取引を行います。</li> <li>・ 原則として、取得時においてB-格相当以上の格付けを有するバンクローン、債券等に投資します。</li> </ul>
<b>決算日</b>	原則として毎年3月31日
<b>分配方針</b>	原則として毎月分配を行う方針です。

※ウエスタン・アセット・米国バンクローン（オフショア）ファンドーJ P Y ヘッジド・クラスについては、資金流入にともない発生する取引費用などによる当該投資信託証券の純資産への影響を軽減するため、資金流入が純流入の場合は純資産価格が上方に、純流出の場合は下方に調整が行われることがあります。したがって、資金流入の動向が純資産価格に影響を与えることになります。

信託終了日現在、投資対象ファンドを保有していないため、運用計算書および純資産変動計算書、投資有価証券明細表は掲載しておりません。

## マネー・マーケット・マザーファンド

### 《第25期》決算日2017年5月22日

[計算期間：2016年11月22日～2017年5月22日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月22日に第25期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
21期(2015年5月20日)	10,183	0.0	89.3	—	1,959
22期(2015年11月20日)	10,185	0.0	91.2	—	27,834
23期(2016年5月20日)	10,183	△0.0	39.0	—	5,562
24期(2016年11月21日)	10,184	0.0	24.4	—	4,420
25期(2017年5月22日)	10,184	0.0	—	—	1,681

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率
(期首) 2016年11月21日	10,184	—	24.4	—
11月末	10,184	0.0	27.9	—
12月末	10,184	0.0	11.9	—
2017年1月末	10,184	0.0	11.6	—
2月末	10,184	0.0	5.9	—
3月末	10,184	0.0	6.2	—
4月末	10,184	0.0	—	—
(期末) 2017年5月22日	10,184	0.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額の推移



## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場を見ると、日本銀行は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は、マイナス金利の適用以降であることから、マイナス圏で推移しました。2017年5月22日のコール・レートは-0.051%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・残存期間の短い社債を組み入れつつ、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・原油価格の上昇などを背景に物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日本銀行の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

## ◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や適正な流動性の保持をめざした運用を行います。



## ○1万口当たりの費用明細

(2016年11月22日～2017年5月22日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2016年11月22日～2017年5月22日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内	社債券	千円 —	千円 300,314 (777,900)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

## その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 178,799,922	千円 180,299,921

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年11月22日～2017年5月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2017年5月22日現在)

## 国内その他有価証券

区 分	当 期	末
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,599,999	% 95.1

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## ○投資信託財産の構成

(2017年5月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,599,999	% 94.2
コール・ローン等、その他	98,830	5.8
投資信託財産総額	1,698,829	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年5月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,698,829,231
コール・ローン等	98,829,950
その他有価証券(評価額)	1,599,999,281
(B) 負債	16,981,227
未払解約金	16,981,064
未払利息	163
(C) 純資産総額(A-B)	1,681,848,004
元本	1,651,473,732
次期繰越損益金	30,374,272
(D) 受益権総口数	1,651,473,732口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,184円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 4,340,785,954円  
 期中追加設定元本額 377,829,430円  
 期中一部解約元本額 3,067,141,652円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0184円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	284,151,127円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	8,898,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,628,029円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	62,265円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	47,179,877円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	283,694,306円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,260円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,383,955円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	26,506,400円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	2,272,200円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	15,211,722円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	393,503円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	5,744,737円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	9,071,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	3,037,917円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	551,512円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	407,171円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	80,349,636円

## ○損益の状況 (2016年11月22日～2017年5月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,317,144
受取利息	1,357,953
支払利息	△ 40,809
(B) 有価証券売買損益	△ 1,220,116
売買損	△ 1,220,116
(C) 当期損益金(A+B)	97,028
(D) 前期繰越損益金	79,760,468
(E) 追加信託差損益金	6,951,980
(F) 解約差損益金	△56,435,204
(G) 計(C+D+E+F)	30,374,272
次期繰越損益金(G)	30,374,272

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	1,364,852円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	600,566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,647,957円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,148,614円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	67,305円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	3,491,498円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	31,208,972円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	756,099円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	684,529円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	12,561,714円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	69,931円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	158,381円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20,660円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	40,278円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	955,887円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	924,121円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカム分散コース<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	12,234,366円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	348,598円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,834,580円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	14,819,878円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	3,123,514円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	1,312,527円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	24,184,985円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	4,117,720円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686,803円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	105,642円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	1,809,102円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	2,984,793円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	2,557,537円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	8,473,583円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,859,081円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	2,464,335円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	5,920,244円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円

三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	3,175,643円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	679,527円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8,067,104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,551,577円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,991,470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	25,781,668円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	4,824,746円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	128,636円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	79,540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,211円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564,702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89,371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6,313,826円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり)	412,412円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし)	1,188,139円
スマート・プロテクター90オープン	981,933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	982円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	982円
N a v i o インド債券ファンド	885,566円
N a v i o マネーボールファンド	4,243,064円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
三菱UFJ バランス・イノベーション (債券重視型)	315,194,509円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネーボールファンド (FOF s用) (適格機関投資家限定)	9,993,280円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s用) (適格機関投資家限定)	6,526,415円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	10,766,608円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	21,620,196円
合計	1,651,473,732円